

天理教 江南支部だより

発行先 江南支部
発行日 立教186年4月1日
発行責任者 福西 努
発行住所 甲賀町上野461番地9

4月号 N0273

立教 186年 4月29日

全教一斉ひのきしんデー



教祖140年祭

成人の旬

一手一つにひのきしん

～日々の実践につなげよう～

甲南組

- 甲南第一地域市民センター 草刈り・除草
4月29日午前8時半～11時半 少雨決行 雨天順延
- (社福)やまなみ工房 草刈り・除草
5月13日午前9時～11時半 雨天決行 屋内清掃

甲賀組

- 甲賀B&G海洋センター 草刈り・除草・清掃
4月29日午前8時半～11時半 雨天4月30日に順延

信楽組

- 信楽荘 草刈り・除草・屋内清掃
4月29日午前8時半～11時 雨天決行
- 紫香楽病院 草刈り・除草・屋内清掃
6月4日午前8時半～11時 雨天延期



日々親神様から身体をおかりし、使わせていただけることへの感謝の心から行うひのきしん。日頃から教会や地域、また一人ひとりが実行しているひのきしんを、この日に集結して行う全教の統一行事です。津々浦々のようぼく・信者が、同じ日に報恩感謝の心から一斉にひのきしんに励むことによって喜びを分かち合う姿は、地域に対するにをいがけにつながることでしょう。

朝の信仰読本

中山慶純著

徳の器を広げるには

以前、「私の徳分はどれくらいあるのでしょうか？」と尋ねられたことがあります。

徳は目に見えないものですから、「あなたのは一メートルくらいですね」などと、メジャーで測ることも、はかりに掛けることもできません。しかしながら、お道ではよく「徳の器を大きくしましょう」と聞かせていただきます。器にどれだけ物が入るかで、目安をつけることはできるかもしれせん。たとえば、私たちはいろいろな買い物を買います。大きな買い物をするときは、お金を貯めて手に入れることもあります。

欲しかったものが自分の手のなかにすんなり収まる場合、それはその人の徳分に見合ったものと言えるでしょう。反対に、手に入れてすぐ使い物にならなくなった、あるいは、何らかの理由で手放さざるを得なくなった、などという場合は、身につかないものだった、徳分以上のものを求めていたとい

うことになるのでしょうか。

徳の器を大きくするには、どうすればいいか。一番の方法は、教祖の真似をさせていただくことです。教祖は、月日のやしろとお定まりになった後、親神様の思召のままに貧に落ち切られました。あるとき、こかん様が

「もう、お米はありません」と言うと、教祖は、

「世界には、枕もとに食物を山ほど積んでも、食べるに食べられず、水も喉を越さんと言うて苦しんでいる人もある。そのことを思えば、わしらは結構や、水を飲めば水の味がする。親神様が結構にお与え下されてある」と諭されました。

教祖は、無かつたらすぐに買っておいでとか、近所から頂いてきなさい、というようなことは一切仰いませぬ。ただ親神様のお与えを、深くひたすらに喜ばれたのでした。

無いことを嘆いたり、「あれが欲しい、これが欲しい」とむやみに求めたりせず、「お与えを喜ばせていただく。これで結構」—こういう気持ちに心底なれたなら、徳は増えていくので

す。

徳を積むもう一つの方法は、自分以外の人のために心を使うことです。

私はよく、修養科生に「運命を変えていただきましょう」という話をしました。そのためには、自分の身上や事情を「たすけてほしい」と思うだけではたすかりません。たすかる理づくりをさせていただくことが大切です。人さまのたすかりを願って、おつとめをさせていただく、おさづけを取り次がせていただく、いつか人だすけをするために教理を学ばせていただく。こうした教祖の御心にかなう通り方が徳積みとなつて、自然と自分もご守護いただけるのです。

冒頭で、どれだけ徳があるかという話をしましたが、与えをどれだけ喜べるか、人のためにどれだけ心を使えるかが、その人の徳分を表していると言えます。

「教祖ならどうなさるか。どうしたらお喜びいただけるか」

常にそう考えながら、毎日をお通りいただきたいと思えます。



みんなの教理勉強

だめの教えって素晴らしい

飯田照明

だめ（究極）の教えの何と
ありがたいことか！

キリスト教、仏教、イスラームと比
べて

はじめて、人類が目ざすべき本当の
生き方を教えられた

人類史上はじめて人間と世界を創り、
育て守護くださった元の神・実の神、
親なる神が、教祖をやしるにこの世に
じきじきにお現れになってだめ（究極）
の教えを啓示された。天保九年十月二
十六日（西暦一八三八年）の事であつ
た。

創造の親の直接の啓示で明らかにさ
れた人間の本当の生き方とは何か、ど
のような世界を実現すると教えられた
のか。それは親神さまの創造の時の思
召である陽気ぐらしである。

目指すべき理想の社会とは、人間が

心を清め成人し、神の思いを念じて一
すじ心に生きる陽気ぐらし世界である。
ここに人類は史上はじめて創りあげ
ていかねばならない世界の理想と目標
が与えられたのである。

教祖がじきじきに書かれた聖典が与え
られた

キリスト教の聖典は旧約聖書（ユダ
ヤ教の聖典でもある）と新約聖書であ
るが、それは多くの人が聖霊に導かれ
て書いたものである、と言われている。
たくさんあつた中から、教会が何度
か会議を開いて、選んで正典と決め、
その他を外典とか偽典とよんでいる。

仏教も、お釈迦様からこのように聞
いた、「如是我聞」という書き出しで
始まるお経がたくさんある。大乘仏教
には三千を超える仏典があり、そのど
れが本当の釈迦の教えなのかよくわか
らない。

イスラームの聖典クルアーンは、ム
ハンマドが話した言葉を弟子たちが書
きしるしたものである。ムハンマドは

文字が書けなかった。

お道では神のやしる、地上の月日で
ある教祖がじきじきお書きくださった
原典、すなわち一七一一首のおふでさ
きがある。聖典の中の聖典といふべき
ものである。地上の月日である神が、
じきじきに書かれた比類のない聖典で
ある。

それも仏典のように難しい漢字では
なく、誰でも読んでよくわかるよう、
ひらがなで書かれた。ありがたいこと
である。

世界の宗教の歴史を見ると、聖書や
經典の成り立ちや、その解釈の違いか
ら異端や分派が生じ、血で血を洗う対
立抗争を繰り返してきた。その点、だ
めの教えには教祖直々の神言の書であ
る原典があることは本当にありがたい
ことである。

だめの教えの原典には人間的な脚色
が全くみられない。それは親神さまの
言葉そのものだからである。いわばエッ



婦人会第105回総会
4月19日午前10時30分
本部中庭

センス（真髓）そのものを教えられているからである。人間（弟子たち）によつて書かれたキリスト教の聖書や仏教の経典には、神様や仏様に対する畏敬や讃嘆の感情が文学的に表現され、美辞麗句にみちている。

それに比べてだめの教えの原典は何と素朴でかざりけのない調子で書かれていることだろう。だから原典は人の心に迫り、魂を揺さぶり、圧倒するのである。原典の一言で万巻の本が作れるほど、深い内容が込められている。それは元の神・実の神の言葉だからである。



立教百八十六年教祖誕生祭
四月十八日午前10時執行

支部だよりを、天理教ホームページの「教区支部情報ねっと」に掲載します。右のQRコードから直接見れます。



4月の支部にをいがけデー
4月28日（金曜日）午前9時より

拠点教会 柚龍分教会 甲南町寺庄1163
教祖140年祭活動の旬！ 勇んでつとめましょう！

立教百八十六年教祖誕生祭

四月十八日午前十時執行
